**令和7年度世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム**

**令和7年5月募集 申請書**

**１．申請者情報等**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学生番号 |  | |
| 氏名 |  | |
| 所属 |  | |
| 学年 |  | |
| メールアドレス |  | |
| 指導教員 |  | |
| 申請種別  ※どちらかを残して、片方は削除してください。 | （A）研究留学  （Ex.海外等の受入機関で、受入先指導者の元で研究を実施する）  （B）海外での一時的な研究活動  （Ex.海外の相手方研究者との共同のフィールドワーク、調査研究、サンプリング活動を含む、ただし、単純な学会発表だけの渡航は含まない） | |
| 研究課題名 |  | |
| 留学等を希望する期間 |  | |
| 留学等先（国） |  | |
| 受入（相手方）機関、受入（相手方）研究者 | 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 受入（相手方）機関名 |  |
| 受入（相手方）部局名 |  |
| 語学能力 | どの程度の語学力を有しているかを説明してください。その際、客観的に、相応の語学能力を有しており、外国での研究活動に支障がないことがわかる根拠があれば示してください。  （例）  ・使用言語の語学検定試験結果（試験名称、級・スコア、取得年月日）  ・国際学会において、主な使用言語での発表経験の有無、回数  ・主な使用言語での論文執筆経験の有無、数  ・主な使用言語圏への留学経験の有無、内容  ・主な使用言語の日常的な使用頻度 | |
| 海外における研究・留学歴  （1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入してください。語学研修など研究以外の海外滞在は含みません。該当がない場合は「該当なし」と記入してください。） | 訪問先：  目的：  期間： | |
| 訪問先：  目的：  期間： | |
| 訪問先：  目的：  期間： | |
| カーボンニュートラル（CN）に関する研究留学等であるか  ※どちらかを残して、片方は削除してください。  ※直接CNに繋がる研究開発に限らず、CNに係る政策課題の研究や調査研究なども含みます。 | ・CNに関する研究課題である。  ・CNに関する研究課題ではない。 | |
| 他の支援制度で本研究留学等の支援を別に受けている場合は詳細を記載してください | ※支援制度名、支援される範囲、支援金額等を記載してください。 | |

|  |
| --- |
| **2．派遣先における研究計画**  **(1) 研究の位置づけ**  （適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記述してください。なお、本項目は１ページに収めてください。様式の改変・追加は不可。）  研究留学等で取り組む自身の研究計画が次世代フェロー申請時の研究計画とどのように関連し位置づけられているかを明記し、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記述してください。また、過去に本プログラム、研究支援プログラムに採択された者については、これまでに採択されたプログラムからの発展性や違いを明記してください。 |

|  |
| --- |
| **(2) 研究目的・内容等** （※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で２ページに収めてください。様式の変更・追加は不可。）  ①研究留学等で取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。  ②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入してください。  ③共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにしてください。 |

|  |
| --- |
| **3．海外を中心とする他機関等で研究することの意義（派遣先機関・指導者等の選定理由）**  （※各事項の字数制限はありませんが、全体で１ページに収めてください。様式の変更・追加は不可。）  ①申請者のこれまでの研究と派遣先機関（指導者）の研究との関連性及び受入準備状況について記述してください。（海外での一時的な研究活動としてフィールドワーク・調査研究を行う場合、相手側の研究との関連性や相手側との調整状況を記載ください。）  ②内外の他研究機関（研究者）と派遣先機関（指導者）とを比較し、派遣先での研究に挑戦する必要性や意義について明らかにしてください。（海外での一時的な研究活動としてフィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。） |